

新製品紹介 / 6

# 業務用生ごみ処理機<堆肥型>

■ まえがき

業務用生ごみ処理機の導入計画は、循環型社会の構築、企業のISO14001推進による環境対策、官公庁の「地域型生ごみ処理設備」設置への取組みなど、多方面で推進されている。

しかし、この推進状況とは裏腹に、本体価格、ランニングコスト等がネックとなり、積極的に生ごみ処理機導入に踏み切られていないのが現状である。

当社では、この様な背景のなかで自然界の自浄作用を装置に取り入れ、全体をシンプルな機構とし、低価格でランニングコストの大幅な低減を実現した堆肥型の生ごみ処理機を開発した。

本機は、処理槽に回転ドラムを採用し、ドラムを回転させることにより空気接触効率を高め、強制給排気設備を不要とした。

処理槽の内部は、長年の廃魚処理装置の納入実績で培った物質移動のノウハウを取り入れた特殊構造にしたことで、1つの処理槽が多槽式の役目を果たすことになり、処理物はオーバーフロー方式により、毎日少しずつ自動的に排出可能となった。その上、ヒータ加熱・水分調整機構などを設けることなく、自然発酵分解による処理が可能のため、臭気の発生も少なく、大掛かりな消臭装置も不要となった。

また、基材は現在その処理が問題となっている街路樹などの剪定枝を活用することで、剪定枝の処理も同時に実現した。排出された処理物を堆肥としてリサイクルするためのルートも確立しており、まさに、ごみをごみで退治し、循環型社会へ貢献するシステムを実現した。

■ 特長

- シンプルな構造で低価格
- ランニングコストがほとんどかからない
- 音が静か
- 剪定枝をチップ加工した基材を使用
- 1つの処理槽で多槽式の効果
- オーバーフロー方式で処理物は自動的に排出
- 悪臭が発生しない自然発酵分解方式
- 操作が簡単
- 処理物のリサイクルルートを確立

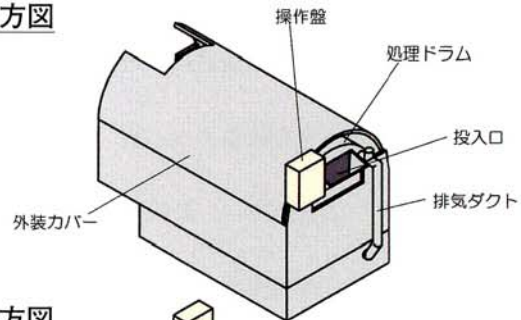
■ 主な仕様

型 式	AG-30R	AG-40R
処 理 方 式	微生物分解方式	
最 大 投 入 量	30kg/日	40kg/日
減 量 率	80%	
電 源	1φ100V	
最 大 消 費 電 力	220 W	420 W
外 形 寸 法	幅 (W)	1000 mm
	奥 行 (D)	2000 mm
	高 さ (H)	1360 mm
本 体 質 量	600 kg	680 kg

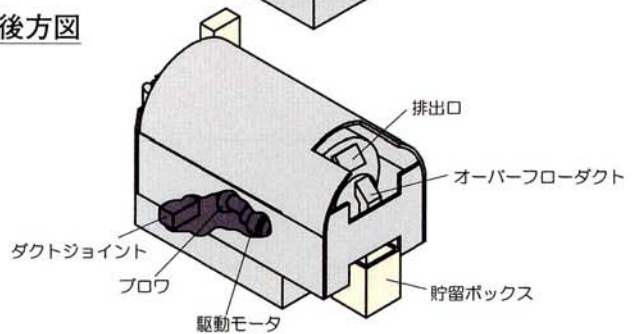


■ 業務用生ごみ処理機<堆肥型>の外観 (AG-40R)

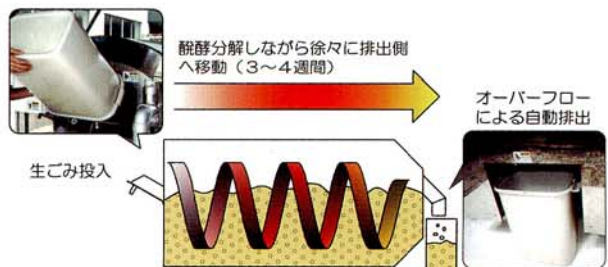
前方図



後方図



■ 投入と排出



■ 投入と排出